

保育園児を対象に環境活動事業を実施

葦崎市環境事業協同組合(向山陽一郎理事長 組合員9社)では、葦崎市環境課が実施する「葦崎市環境活動事業」に協力し、去る11月26日に葦崎東保育園で保育園児と保護者を対象とした環境啓発イベントに参加した。

この事業は、葦崎市におけるゴミの減量化や資源物のリサイクル率の向上を目的として、保護者には環境保全と地球温暖化防止のためのゴミ減量の啓発として、園児



工作教室の指導をする篠原専務理事

には家庭内の様々な不要物の再利用方法に気づいてもらうきっかけとしてもらうために、3年前から継続して開催されており、組合では開催当初から協力を続けている。

当日は園児58人と保護者50人が参加、市環境課の職員による「ありがとう・ごはんつぶマン」と題した紙芝居とゴミリサイクルに関するクイズを楽しんだ後、県公認の「やまなしエコティーチャー」の資格も持つ篠原専務理事による牛乳パックを利用した小物入れの工作に、保護者と一緒になって取り組んだ。園児は、不要品と考えていた牛乳パックが色とりどりの小物入れに変身する様に驚き喜んでいた。

場所を移して、園庭におかれたゴミの収集運搬用のパッカー車を向山理事長が操作し、収集作業中はパッカー車に近づかないように注意することや、

ゴミ袋の中に混じった資源物を見つけて分別の重要性を園児に理解してもらうなどの実演を行った。



園児にパッカー車の説明をする向山理事長

向山理事長は「我々組合員は、葦崎市から市民の生活系廃棄物の収集運搬と処理の委託を受けている。保育園児や保護者といった若い世代の市民に、組合の事業を知ってもらうとともに環境保全意識を高めてもらえれば、葦崎市のゴミ減量化やリサイクル推進につながると期待している。これからは市と一体となって地道に環境活動を継続していきたい。」と今後の活動に対しても積極的に協力していく考えを語ってくれた。